

令和4年9月30日

杉並区立荻窪小学校

TEL 3333-6628

http://www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/



題字 学校運営協議会委員 穂苅真里子様

「学ぶ子ども」を育てる

～対話的な学びの充実に向けた授業改善を通して～

副校长 加藤 路恵

「先生が教える授業」から「子供自身が主体的に学ぶ授業」への転換をめざし、今年度も本校の研究主題は『「学ぶ子ども」を育てる』としています。副題は「対話的な学びの充実に向けた授業改善を通して」としました。「対話的」とは、人と話すことはもちろん、「自己内対話」も含んでいます。自分自身の考えをしっかりととめ、それをもとに友達や様々な人と協力して問題解決に向かっていく子供たちの姿を「対話的な学びの充実」ととらえています。

さて、1学期の終わりに2年生の授業を見る機会がありました。算数科「たし算とひき算」の学習です。この時間は、百何十何-2位数(繰り下がりあり)の計算の習熟を図る時間でした。このような習熟を図る時間は、教師が用意したプリントやドリルを個別に解く様子を見ることが多かったのですが、この授業は、計算の問題を作り、計算の仕方を説明する活動を通して筋道立てて説明する力を伸ばすこと目標としていました。



問題作りでは、2年生ではあります、一人1台タブレットを用いていました。ノートより気軽に書き込み

をしたり、削除したりできることや、送信機能を使って作った問題は瞬時に全体で共有できる良さを生かしていました。個別に問題作りをしたあとは、友達と計算の仕方を説明し合ったり、さらに問題を作ったりしました。子供たちは、短い時間の中でた

くさんの問題に取り組み、友達同士で話し合い、次のような様々な気付きをしていました。

- $$\begin{array}{r} 132 \\ - 21 \\ \hline 111 \end{array} \quad \begin{array}{r} 130 \\ - 80 \\ \hline 50 \end{array}$$
 「なんだか簡単だな。」「なぜかな?」「繰り下がりがないからだ!」
- $$\begin{array}{r} 500 \\ - 255 \\ \hline 355 \end{array}$$
 このように考えて問題を変えました。
- $$\begin{array}{r} 560 \\ - 971 \\ \hline 89 \end{array}$$
 友達と説明し合ううちに、何かが違うということに気付き、「0から5は引けないから隣の位から借りてくる」ということを思い出し、答えを直していました。
- $$\begin{array}{r} 560 \\ - 971 \\ \hline 89 \end{array}$$
 一の位から順番に繰り下がりも考えて計算しましたが、百の位になって4-9…「あれ?」となりました。

前に(数字の)大きさ比べをしたよね。引く数の方が大きいとできないよ。

このままでは、マイナスになっちゃうよ。

千の位に数字を入れて14-9にすればいいんじゃない。

全体でこの問題を考えた時には、これまでの学習や、生活経験をもとにした意見や解決策が次々と出てきました。

百の位に1より大きい数が入る学習はこの時点では未習でしたが、子供たちは、既習事項を活用して問題を解いていました。4桁・5桁…と数を大きくして問題をつくり、3桁の計算の方法と同じようにできることに気付く子もいました。



自分で作った問題に、自分で挑戦し、できしたことや分かったこと、困ったことを友達と話し合って問題を解決するという学習でした。どの子も集中し、夢中になって取り組んでいました。低学年でもタブレットPCを自分の学びに生かせることも分かりました。

このように、「学ぶ子を育てる」ことを目指した校内研究で授業を見合い、教員一人一人の授業づくり・授業改善に励んでいます。

◆子供たちの体力向上について

体育主任 保坂 司

5月に行った体力テストの結果から、荻窪小学校の児童は、握力があり、ボール投げが得意で、走力もあるという傾向にあることが分かりました。感染拡大に注意しながらも、子供たちは休み時間にボールを使った遊びや鬼ごっこなどをしており、それがこのような結果につながったのです。

その一方で、もう少し頑張ってほしいところがあるという指摘もありました。

それは、腹筋運動（上体起こし）、柔軟性（長座体前屈）、瞬発力（反復横跳び）、持久力（20mシャトルラン）についてです。この2年間、それらを高める運動がなかなかできなかったという状況は、荻窪小学校の問題ではなく、全国のどこの小学校も同様です。全国的に運動能力の低下は否めません。

全校朝会や全校集会もまだ全校児童そろってできない現在ですが、少しずつ以前のような学習や行事に戻していく中で、荻窪小児童の運動能力の向上も考えていく必要があります。そこで、昨年度から「荻小パワーカード」を活用して、児童が積極的に体を動かしたり自分たちで工夫したりして、運動ができるようなきっかけ作りをしています。今年も10月からこのカードを配布し、授業や休み時間に取り組めるようにします。カードの種類は、「縄跳び」「鉄棒」「固定遊具」「バランス」です。

特に、筋力や瞬発力、持久力を向上させるには、縄跳びを使った運動は最適です。場所もとらず、短時間で大きな効果が得られます。毎日の生活の中でのルーティーンとして取り入れるといいと思います。

運動能力の向上と学力の向上は密接な関係があるということは、科学的に証明されています。荻窪小学校では今後、体力向上、運動能力向上についても力を入れていきたいと思います。

道徳授業参観

担当：浅田 航平

9月10日（土）に道徳授業参観を行いました。今年度2回目の授業公開となりましたが、今回も多くの方に参観していただきありがとうございました。

子供たちは「決まりや約束ってどうして守らなければいけないの」「親切な心ってどうすれば相手に伝わるの」など、普段生活している中で獲得していく経験値を補い、広げ、生かすために道徳の学習をしています。また、道徳の正式名称は「特別の教科 道徳」となっています。「特別の教科」となっている理由は道徳の授業だけでなく、学校生活全体を通して行われるからです。社会の縮図と言われる学校では、日々様々な出来事が起ります。学習と生活指導の両輪を回しながらの学校生活は、常に慌ただしさに追われる日々ですが、充分に子供と向き合う時間を確保することが大切です。学校でも家庭でも、表面上の子供の言動だけでなく、心の奥にある声をしっかりと聞き、受け止める毎日が子供の心を成長させることを忘れずにいたいと思います。

これからも、保護者の皆様と情報を共有しながら、子供たちの心の成長を図っていきます。気になることがございましたら、いつでも気軽にご相談ください。



**杉並区特定の課題に対する調査の
結果より**

■平均正答率一覧 (%)

		第6学年	
		杉並区	本校
国語	教科全体	74.4	77.1
	基礎	83.0	86.9
	活用	60.9	61.7
	知識・技能	92.2	95.5
	思考・判断・表現	70.9	73.4
算数	教科全体	63.1	65.7
	基礎	74.7	77.8
	活用	38.4	40.0
	知識・技能	75.9	79.2
	思考・判断・表現	43.8	45.4

全国学力調査の結果より

全国学力調査 国語	平均正答数	平均正答率(%)
杉並区立荻窪小学校	10.5 / 14	75
東京都(公立)	9.6 / 14	69
全国(公立)	9.2 / 14	65.6
全国学力調査 算数	平均正答数	平均正答率(%)
杉並区立荻窪小学校	11.5 / 16	72
東京都(公立)	10.7 / 16	67
全国(公立)	10.1 / 16	63.2
全国学力調査 理科	平均正答数	平均正答率(%)
杉並区立荻窪小学校	11.8 / 17	70
東京都(公立)	11.1 / 17	65
全国(公立)	10.8 / 17	63.3

「杉並区特定の課題に対する調査」と「全国学力調査」が今年度は6年生のみを対象に、1学期に行われました。ともにすべての教科において区内や全国の平均以上の正答率があることが見て取れます。

荻窪小学校では今号のはじめにもあるように、「『学ぶ子ども』を育てる」というテーマのもと、校内研究を通して授業改善を行っています。各学年の発達段階に合わせて子供たちが主体的に問い合わせの解決を目指したり、学習したことの実生活でどう生かしていくのかを考えたりする力を育てていきます。6年間を通して学習の基礎を大切にしながら「活用」できるような学力の向上を目指します。そのためにも、日ごろからニュースを話題にする、買い物に一緒にいく、読書をする、身近な自然に关心を持つ、体を動かすなどご家庭でも意識して取り組んでみてください。

東京都「児童の学力向上を図るための調査」より(4・5・6年生実施)

(表①)

【学習の動機】	4年生	5年生	6年生
分かることやできることが楽しいから	91.3%	84.8%	82.8%
しっかり考えられるようになりたいから	88.4%	87.2%	88.9%
将来の仕事や生活に役立つから	86.4%	84.0%	86.9%
友達や先生と学習するのが楽しいから	90.3%	82.4%	77.8%

(表②)

【学習の進め方】	4年生	5年生	6年生
他の人と意見がちがったときは、質問して相手の考えを確かめている。	64.1%	60%	72.7%
自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。	66.1%	55.2%	63.7%
他の人と相談して、考えを深めようとしている。	73.8%	83.2%	76.8%

東京都「児童の学力向上を図るための調査」では、子供たちの学習についての状況や、学習へのように向き合っているかなどについて、4・5・6年生を対象に調査が行われました。各教科学習の理解度については、どの教科も肯定的な回答が90%を超えて、子供たちがしっかりと理解しているという実感をもって学習に向かっていることが分かりました。

表①は、学習の動機についての質問に対して、肯定的な回答（「当てはまる」「どちらといえば当てはまる」）の割合をまとめたものです。子供たちがしっかりと学ぶ目的をもって前向きに日々の学習に取り組めていることが分かりました。

一方、表②では、子供たちの学習の進め方について、肯定的な回答（「当てはまる」「どちらといえば当てはまる」）の割合をまとめたものです。これを見ると、友達や先生と「話し合う」ということができない子供が多いことが分かります。今年度の校内研究では、対話的な学びの充実を目指して授業改善を行っています。授業の中で子供たちが自分の考えを伝え合ったり、話し合いながら課題解決をしたりして、「対話」が生まれるような活動を多く取り入れながら、子供たちの学びの充実を図っています。

10月の行事予定

(授業日数 21日)

日	曜	朝	学校行事・児童会活動等	授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土		都民の日						
2	日								
3	月	全校朝会		5	5	6	6	6	6
4	火	安全指導	荻小スタンダード確認日 移動教室事前検診(5年)	5	6	6	6	6	6
5	水		富士移動教室1日目(5年)	4	4	4	4	6	4
6	木	朝学習	富士移動教室2日目(5年) 理科出前授業(6年)	5	5	6	6	6	6
7	金	朝学習	富士移動教室3日目(5年)	5	5	5	6	6	6
8	土		あきまつり						
9	日								
10	月		スポーツの日						
11	火		水曜時程 研究授業(3-2)	4	4	4	4	4	4
12	水			5	5	5	6	6	6
13	木	音楽朝会		5	5	6	6	6	6
14	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
15	土		土曜授業	3	3	3	3	3	3
16	日								
17	月	全校朝会		5	5	6	6	6	6
18	火	朝学習		5	6	6	6	6	6
19	水		就学時検診	4	4	4	4	4	4
20	木	委員長紹介	2年生活科見学	5	5	6	6	6	6
21	金		水曜時程 研究授業(2-5)	4	4	4	4	4	4
22	土								
23	日								
24	月	全校朝会		5	5	6	6	6	6
25	火	朝学習	3年社会科見学	5	6	6	6	6	6
26	水			5	5	5	6	6	6
27	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
28	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
29	土		小学校サイエンスランプリ(始)						
30	日								
31	月	全校朝会	小学校サイエンスランプリ(終)	5	5	6	6	6	6

《主な行事予定》

5年生 富士移動教室

5日～7日 (水～金)

忍野八海、明神山、湧水の里水族館など富士の大自然を体験します。また、宿泊体験を通して、集団生活の決まりを守ることを学び、思いやりや仲間との友情を深める心を育てます。

6年生 理科出前授業 6日 (木)

「土地のつくりと変化」の学習について済美教育センターの理科教育担当の方から地層のでき方について学びます。流水によりどのように地層ができるのか、流水実験道具を用いて、各クラス2時間ずつの活動で理解を深めます。

2年生 生活科見学 20日 (木)

神奈川県川崎市の生田緑地へ自然観察に行きます。雨天の場合も同じ場所へ見学に行きます。

3年生 社会科見学 25日 (火)

学校で学習した内容の理解を深めるために、区内めぐり、善福寺川取水施設、杉並区郷土資料館へ見学に行きます。

避難訓練

10月も予告なしの避難訓練が行われます。2次避難として、近隣の宮前公園まで避難をしま

